

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 18日

事業所名 P.P.P. プラットフォーム！玉島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	必要に応じて部屋を使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	扉の開閉時に向こう側にいる児の状況が見えにくいため、開閉時に向こう側へ声をかけている。 階段が急なため、昇降時に手すりを持つよう声かけしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2		トイレ、床などの汚れがある。 →適宜清掃、マットの張り替えなど行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		外部評価を受けるための手順等について確認する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		業務時間内での実施が難しい。 →一時間内に開催できるよう、サービス提供時間等を今後調整する。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	月担当職員が決定するが、当日の利用児童に合わせて職員間で当日の活動内容の調整（発達段階に即しているか、道具は用意できているか等）を事前に検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	毎週活動内容を変更している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0			

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3		前日に打ち合わせが出来る場合は行っている。当日でなければ難しい場合もある。→直前に確認し合うようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4		毎日の実施について物理的な難しさがある。→サービス提供時間を調整し、定期的な会議等を行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	半年に一度見直している。	新規利用児童及び年度途中に利用開始されたケースについては、短い期間での目標設定を行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	必要に応じて、保健師、子ども相談支援センター等と情報共有を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	0		該当利用児童無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		該当利用児童無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	書面の用意及び引継ぎ会議など実施、参加している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	書面用意及び引継ぎ会議など実施、参加している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		交流の機会は確保できていない。→どのような手順、手続きが必要か確認するとともに、実現可能な交流方法について検討する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3		参加しているが共有の不十分さがある。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	具体的な関わり方は、懇談でお伝えしたり、イベントで療育の様子を見ていただきながら助言したりしている。	具体的な支援プログラムが策定されていない。→保護者からの求めに応じて実施しているため、具体的に実施出来るような支援プログラム
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に重要事項説明書をもとに説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		個人懇談以外でお話が出来ないご家庭もある。→全体に向けた相談、質問の機会の設定など実施する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	親子イベントの中に、保護者が交流できる時間など設けている。	

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	連絡帳、電話連絡、送迎などによるやり取りの中で聞き取りを行っている。	ご相談のあがりにくいご家庭もある。決まった方の相談に偏りやすい。 →全体に向けた相談、質問の機会の設定など実施する。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1		連絡帳や私物の入れ間違い等がある。 →連絡帳の様式を変更する。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		地域交流が実施できていない。 →どのような手順、手続きが必要か確認するとともに、実現可能な交流方法について検討
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		全体への周知が出来ていない。 →職員が改めて確認する時間を設ける。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年に2回実施し、利用者児も参加している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	指定の様式に記入いただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	同上	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	作成後、職員間で閲覧している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	月に1回、人権擁護研修を法人主体で実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1		実際に行っている事例が無い。 →必要が生じた際に慌てないよう、具体例を見るなどしておく。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年 3月 18日

事業所名 P.P.P. プラットフォーム！玉島 保護者等数(児童数) 35家庭 回収数29件 割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	1	0	3	危険個所の見直しがされていた。	今後も、安全面で不安な点があればご意見を頂戴できればと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	0	0	4		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	0	0	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	0	0	3		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	29	0	0	0	懇談でしっかり話をしたうえで作成されている。	ありがとうございます。計画内容についてご質問がありましたら、適宜ご相談ください。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	0	0	1	子どもに合ったねらいをたてて支援している。出来なくても、頑張りチャレンジしたことを褒めてくれているので、子どもの自信や成長に繋がっている。	ありがとうございます。今後も努めて参ります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	0	0	0		
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	28	0	0	1	毎週違う内容なので、子どもが飽きなくて良いと思う。	「こんなこともしてみたい」などのご意見がありましたら、ご提案ください。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	2	0	8	みんなと一緒に活動するのは難しい。幼稚園との交流はあると思うが提携発達児との交流機会は不明。	地域交流について実施が出来ておらず申し訳ありません。実施可能な具体的な方法を、職員間で検討したいと思います。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	1	0	0	大まかに聞いたことがあるような気がする。	ご不明な点がございましたら、お気軽に事業所までご質問ください。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29	0	0	0			

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	20	3	0	6	心配事があったらその都度相談できる。	不十分な点もあるかと思いますが、心配事は抱え込まずご相談ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	1	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	0	0	1	その都度、困った事や保護者の悩みを聞いて、対応のアドバイスができる体制が整っているか	これからも気兼ねなくご相談頂ければと思います。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	4	0	6	あまり参加出来ていません。	実施日や時間など、様々な保護者様の参加しやすい体制作りを検討したいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	0	0	0	いつも相談にのってくださり感謝しています。相談したらすぐ返答があり、解決しようとしてくれている。	ご相談頂けていることを、職員としても嬉しく思います。不安なことは共有していただき、協働しての解決に努めたいと思います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	2	0	6		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	1	1	1	連絡帳の入れ間違いが時々ある。名前を書く欄が無いので作ったら良いかと思う。	申し訳ありません。保護者様とのやり取り用紙の記名欄が分かりにくいかと思しますので、様式を変更させていただきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21	2	0	6	なんとなく聞いた気がする。	ご質問がありましたらお答えいたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	3	0	8	訓練を実施したかどうかの話は聞いたことが無い。	避難訓練実施時にはご報告いたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27	0	2	0	楽しく通わせていただいています。通所し始めてから、子どもはずっと「明日はPPP?」と聞いている。朝、起きる時から楽しんで	いつもありがとうございます。お子さんが楽しく通っていただけていることが、何よりの喜びです。至らぬ点も多いと思いますが、気になることは是非、お気軽に事業所までお申し付けください。
	23	事業所の支援に満足しているか	29	0	0	0	好きなことや特性を理解してくれるので嬉しいです。いつも助けられていま	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 18日

事業所名 P.P.Pプラットフォーム！玉島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	人数、活動内容に応じて複数の部屋を使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	階段が急なため、昇降時は声かけを行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		放デイに特化した研修が無い。業務時間内での研修は提供されていない。法人としての職員育成研修は実施されている(一部)。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		標準化されたアセスメントツールが無い。必要があれば遠城寺式発達検査の結果等参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		担当職員が作成し、全体で確認している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2		常に行えているわけではない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		特記、相談などあれば共有など行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	6	0		
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画 している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、 子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の 対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0		該当児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めている	4	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等している	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		受けたことが無い。共有は不十分。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのな い子どもと活動する機会がある	2	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2		不明。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		努めているが、ご家庭による。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対 してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っている	6	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す る等により、保護者同士の連携を支援している	6	0		年に数回行うことがある。 →定期的な保護者茶話会など実施す る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	可能な範囲で対応させ ていただいている。	ご相談頂く方に偏りがある。 →全体で相談を受け付けられるよ うな方法を策定する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して いる	6	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている	4	2		こちらから受け付ける体制が取れ ていない。 →具体的に何から始めるか、検討 分らない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年に2回実施している。	実施した際はお知らせする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	月に1回、人権擁護研修を法人主体で実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		現在、該当利用児童無し →実際に必要となった場面で慌てず対応できるよう、事例検討や具体的な対応の確認などを行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		指定の様式にご記入いただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	ヒヤリハットについて、作成者が全体へ書面を回覧している。	ヒヤリハット事例集としての取りまとめがなされていないため、想定するヒヤリハットとその対応を取りまと

0 0

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 18日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！玉島

保護者等数(児童数)20 回収数12 割合 60%

		チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0	1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	1	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	0	1	階段が急なので、昇降時は手すりを持つよう声かけを適宜行っております。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	0	0	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	0	0	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	6	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	0	0	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	0	2	親子イベントを適宜開催しております。今後も保護者の皆様のご意見を踏まえて、実施検討いたします。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	4	苦情、相談の対応の窓口を明確にしたいと思います。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	0	1	
14	個人情報に十分注意しているか	8	1	0	2		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	0	1	2	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	0	5	避難訓練実施時は、お知らせいたします。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0	
	18	事業所の支援に満足しているか	11	0	0	0	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。